

令和元年度 学校関係者評価委員会 結果

1. [学校関係者評価委員会規程 \(別紙\)](#)
2. [学校関係者評価委員 \(別紙\)](#)
3. 令和元年度学校関係者評価委員会

令和元年度学校関係者評価委員会は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、対面での委員会を中止し、書類審査とした。

4. 学校関係者評価結果と今後の課題

1) 学校相互評価受審後の領域別取り組み事項の評価と今後の課題について

I. 教育理念・教育目的・教育目標

具体的でわかりやすく、卒業生の命題を明文化してあり、教育理念や目的、目標達成を目指していることが伝わっている

II. 教育課程経営

学生、卒業時の保護者によるカリキュラム評価を継続し、結果を学校経営に反映できるよう検討する。複数講師が担当する講義や学内演習時の講師(複数で指導している)の表記について分かりやすく記載する。

III. 教授・学習・評価過程

学生に分かりやすいシラバスの表記を目指す。毎回の到達目標を明示することで学習効果の向上につなげる。

IV. 経営・管理課程

特になし

V. 入学

受験生の確保に関して、広報活動を充実させ引き続き多くの受験生に選ばれる学校を目指す。

VI. 卒業・就職・進学

卒業時の就職・進学状況については問題ないため、学生への指導や支援を継続する。入学時より卒業時の学生数が減少していることに関しては、状況を分析し、学習継続につながる支援をしていく。

VII. 地域社会/国際交流

教科外活動やボランティア活動、病院での季節の行事等を行うことで地域との交流がもてている。

VIII. 研究

教員の研究活動に関して、成果発表ができるような活動を目指す。また学会発表の場が広がるような研究活動にむけて努力する。